

第4回須坂市高齢者施策推進協議会 要約議事録

1. 会議名	第4回須坂市高齢者施策推進協議会
2. 日時	令和2年12月21日(月) 13:30~15:00
3. 場所	須坂市役所東庁舎3階 第4委員会室
4. 出席者	【委員】 13名 ※欠席6名 押鐘委員、木畑委員、山岸委員 大井委員、富沢委員、中山委員 岸田会長、新村副会長、田崎委員、青木佐世子委員、佐藤香代子委員、 青木信一郎委員、細井委員、嶋田委員、和久井委員、北澤委員、 佐藤貴幸委員、柳沢委員、豊田委員 【事務局】 9名 小林部長、高橋課長、山岸補佐、唐沢補佐、関野補佐、富沢補佐、 森補佐、鈴木担当係長、湯本主査

<議事概要>

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

(1) 事業計画概要素案について

① 「第2章 将来推計」について

計画素案第2章 高齢者を取り巻く現状と将来推計について説明。

② 「第3章 日常生活圏域の設定」について

計画素案第3章 計画の基本方針内、日常生活圏域の設定について説明。第4期計画からの方向を踏襲し、本計画においても市内全域を1つの圏域として設定したい。

③ 「第4章 施策の推進」について

計画素案第4章 施策の推進について、本計画期間中に新規、拡充で行うものを主に説明。本計画の目標指標についても説明。

④ 「第5章 介護保険費用等の見込みと介護保険料」について

計画素案第5章 介護保険費用等の見込みと介護保険料について説明。第8期(令和3年~5年)の保険料基準額(月額)は4,850円。第7期(5,040円)と比べ、190円の減となる見込み。他市の状況も見ながら負担率と所得段階についても見直しを実施。ただし、今後国から介護報酬改定が示された場合は変動も見込まれる。

⑤ 「第6章 計画の推進、評価、見直し」について

計画素案第6章 計画の推進、評価、見直しについて説明。地域ケア会議(本協議会)で進捗について毎年分析、評価し課題を明らかにしたうえで対応策について検討。その後、その評価を踏まえて次期計画に反映していくことを想定。

(2) その他

4. その他

いきいきプラン素案に対してのパブリックコメントの募集期間は1月6日(水)～1月29日(金)までの予定。

広報須坂1月号で周知。高齢者福祉課、各地域公民館、市ホームページにて素案の閲覧・意見の募集を行う。

第5回協議会は 2月15日(月) 13時30分からを予定。(会場は後日通知)

5. 閉 会

<主な意見（「第4章 施策の推進」について）>

委員：52 ページ5. 介護サービスの質の向上と適正化の推進の介護給付費適正化事業について、住宅改修費等の点検で専門職が関わる仕組みについて検討とあるが、具体的に想定している専門職はどのような職種か。

事務局：国からはリハビリ専門職の関与について示されており、こちらもそれを想定している。

委員：国の社会保障審議会の介護保険分科会での議論で、住宅のことをわかっている人の関与も必要という話があったと思う。リハ職だと身体機能からその方に合った提案はできるが、見積りの価格が適切か等まで判断することはできない。それはケアマネも同様。住宅の作り方としての適性を判断できる方の関与も必要と考え質問した。

委員：54 ページ現状と課題に“在宅で安心して”という表現がある。現在地域包括ケアシステムの考えにも“地域”という概念があるが、これはあくまでも“在宅”についてのものなのか。同項目内に施設サービスもあることから、“地域”という表現が望ましいのではないか。また、55 ページの5. 地域密着型サービスの提供にはグループホームや地域密着型特養などの事業もあるので追加してはどうか。

事務局：内容を検討の上、現状との整合性を図り、変更を考えていきたい。

<主な意見（「第5章 介護保険費用等の見込みと介護保険料」について）>

委員：介護報酬改定についてプラス改定が見込まれているが、今回示した次期介護保険料について変更となる可能性はあるのか。

事務局：そのとおり。給付費が上がることにより介護保険料も上がる可能性はある。

委員：聞いていると須坂市は優良だと思う。前の項目になるが、シルバー人材センターの受託件数については計画期間中、横ばいを目標としている。その理由についてももう少し聞きたい。介護保険給付費について当初見込より低く、余剰が出ているようであれば、シルバー人材センターの支援にも活用できるのか。

事務局：シルバー人材センターの受託件数については、現在会員が減少傾向でそれに伴い受託件数も減少。要因とすれば会社の定年延長により、再雇用で働く方も増えていることから登録会員数も少なくなってしまうのだと思う。それでも色々な仕事をしてもらっており、横ばいでも維持できればと考えて目標数値を設定した。

委員：依頼側が少ない（依頼件数が少ない）という原因はないのか。

事務局：会員が少ないので要請があっても受けきれないこともある。また最近、コロナで観光業への影響もある。仕事を通じて培ってきた能力を社会に還元したり、その活動自体が介護予防につながる側面もあるので市でも積極的に受託していただけるよう働きがけはしていきたい。今は全国的に女性の会員を増やしていく動

きがあり、仕事も開拓しているとのことなので、具体的には言えないが市でも協力していきたい。なお、シルバー人材センターへの助成について介護保険料は使っておらず、市の一般財源で賄っている。空き家の見守りなど社会貢献でやってもらっているので、そのような仕事も含めて市でも活用できればと考えている。

委員：介護保険料の余剰があるのであればシルバー人材センターに活用できないかと思って質問したが、違う会計であることが分かった。